

平成19年度決算の概要について

公立大学法人 和歌山県立医科大学

1 はじめに

和歌山県立医科大学は、平成18年4月に地方独立行政法人法に基づく公立大学法人となり、今回、2回目の決算を実施し、財務諸表を作成して、平成20年8月26日付けで、設置者である和歌山県知事の承認を受けました。

この財務諸表は、企業会計を原則としつつ、公立大学法人特有の会計処理を加味した「地方独立行政法人会計基準」に基づき作成したものであり、本学の財政状態と運営状況を示すものです。

2 財務諸表の概要について

(1) 貸借対照表

貸借対照表は、本学の財務状態を明らかにするため、決算日におけるすべての資産、負債及び資本を記載し、表示するものです。

①資産合計額は、約663億1千6百万円です。

土地、建物、器具及び備品等の固定資産合計は、約564億9千万円です。

現金及び預金、未収入金等の流動資産合計は、約98億2千6百万円です。

②負債合計額は、約94億3千2百万円です。

資産見返負債は、固定資産取得の際に一旦負債として処理をするもので、公立大学法人特有の会計処理によるものです。その他、県からの長期借入金等、固定負債合計は、約44億8千1百万円です。

寄附金債務（翌年度へ繰越す未執行の寄附金）、未払金等の流動負債合計は、約49億5千1百万円です。

③資本合計額は、約568億8千4百万円です。

資本金は、県から出資された土地、建物で、約565億2千4百万円です。

資本剰余金は、損益外減価償却累計額（建物の減価償却費）等によるもので、約47億4百万円のマイナスとなります。

利益剰余金は、約50億6千4百万円です。

(2) 損益計算書

損益計算書は、本学の運営状況を明らかにするため、一会計期間に属する本学のすべての費用とこれに対応するすべての収益とを記載し、表示するものです。

①経常費用の合計額は、約256億1千9百万円です。

主な内訳は、教育経費 約3億4千7百万円、研究経費 約6億3千2百万円、診療経費 約112億6千2百万円、人件費 123億8千7百万円、一般管理費 約6億3百万円です。

②経常収益の合計額は、約266億9千6百万円です。

主な内訳は、県からの運営交付金収益 約39億9千8百万円、授業料収益 約4億4千2百万円、附属病院収益 約199億1千8百万円です。

資産見返物品受贈額戻入 約8億2千8百万円は、県から承継した資産を一旦負債として処理したものを、減価償却費相当額を取崩して収益に計上し、損益計算に影響を与えない公立大学法人特有の会計処理によるものです。

③経常収益と経常費用の差額、約10億7千7百万円が経常利益です。

経常利益は、主に、診療収入の増加、外部研究資金の間接経費収入の増加等によるものです。

④臨時損失と臨時利益は、主に、医療損害賠償に伴う賠償金や保険金収入によるものです。

⑤経常利益と臨時損失、臨時利益を合計した当期総利益は、約10億7千2百万円です。

(3) その他の主要諸表

①キャッシュ・フロー計算書

一会計期間におけるキャッシュ・フロー（資金の収支状況）を活動区分別に表示するものです。

②利益の処分に関する書類

本学の当期末処分利益の処分を明らかにするため表示するものです。

③行政サービス実施コスト計算書

業務運営に関して、住民等の負担に帰せられるコストを表示するものです。

④注記事項

重要な会計方針等、必要な会計情報を表示するものです。

⑤附属明細書

貸借対照表、損益計算書等の内容を補足する情報を表示するものです。